

第39回日本社会学会大会

標記の大会は、昭和41年10月22・23両日にわたり、明治学院大学（東京）において開催された。その概要を示すと次のとおりである。

- (1) 第1日の午前は基礎理論・学史(1)、家族、農・漁村、産業・労働、社会病理の6部会が、午後は基礎理論、家族・人口、都市、地域・産業・労働、社会心理・社会意識の5部会がそれぞれ別の教室において同時に開催された。
- (2) 第2日の午前は基礎理論・学史(2)、社会心理・教育、階級・階層、マス＝コミ・集団・組織・リーダーシップ、社会病理・社会福祉の5部会が開催された。
- (3) 以上の個別報告の部においては、人口についての独立の部門は設置されなかったが、人口に関連を持った報告として次の諸報告がなされた。
 京浜メトロポリス人口の流入入による構造変化の意義……………上田正夫
 人口動態の近代化とその構造的特徴……………黒田俊夫
- (4) 第2日午後は、シンポジウム「社会学は社会福祉問題に何を寄与しうるか」が開催された。大橋薫（明治学院大学）、木田徹郎（日本社会事業大学）、真田是（立命館大学）、関清秀（北海道大学）、三浦文夫（社会保障研究所）の5氏が報告を行ない、雀部猛利、四方寿雄、中本博通、山本登の4氏がそれぞれ詳細なコメントを呈し、さらに一般会員との間に活発な討論が行なわれた。（皆川勇一記）

〔訂正〕 本誌100号記念特集「日本人人口の構造と変動」のなかで、次の個所に誤植があったので訂正する。

号 数	ペ ー ジ	行	誤	正
100	4	上から14	昭和15年 <u>5</u> 月	昭和15年 <u>4</u> 月
101	73	” 8	戦前のいわ <u>め</u> る	戦前のいわ <u>ゆ</u> る
”	74	” 4	都の <u>4.0</u> %前後	都の <u>40</u> %前後